

## 会員寄稿

# メキシコ in 体操・旅

## 門脇 隆 (昭和40年 土木科卒)



外務省国際交流基金(1975～1980年)から派遣されペルー共和国でナショナルチーム監督として体操を指導してきたが、毎年クリスマスカード(日本の年賀状に当たる)のやり取りが教え子達と有り、その中の1人アレハンドロ・ゴンザレス・デ・ホルヘ氏(メキシコ人大富豪)と結婚したジャンイナさんから体育館を建て体操指導するからと招待状と航空券、宿泊するホテル、別荘の住所を送って来たので、2016年2月2日(火)～2月13日(土)までメキシコ行きとなった。

2月2日(火)10時に成田空港に到着。AA175便エアアメリカン航空(ジャンボ機737)成田11:30発が整備点検中で4時間遅れのアナウンサーが流れて、「最初からこれかヨ(ヤバイゾ!)」と思いながら万が一の場合を考え空港内の保険に入る。墜落や障害などで3億円が出るとの事(1万円で12日間有効)。後で判明したが日本の整備士が担当してくれたとの事で安心した。遅延のため、乗り継ぎのグラス発には搭乗出来ずメキシコファレス空港13:40着が時差の関係もあり2月2日の21:20着となった。

なお、今回の旅のメンバーは岩手国体で盛岡一高校に勤務していた時の村上君(教え子で日大の後輩、盛岡で体操教室を経営)、藤田君(盛岡一高の教え子、東北大出、メキシコホンダ勤務)、カミさんと私の4名で、藤田君が1週間の休暇を取り空港まで迎えに来てくれ車でグリオリオ・ホテルに到着。近くのレストラン「メキシコ」にてセルベッサ(ビール)モデルノでサルー(乾杯)。タコス、テキーラ等々とても美味しく楽しいひと時であった。

2月3日(水)の朝のテレビを見ていた所、元巨人の清原が逮捕される

ニュースが出ていた。メキシコでは麻薬の悪の温床で、解説者は日本でもこんな事件があるのか驚いていた。この日は世界でも有数の規模と内容を誇る国立人類学館(世界遺産に登録)を見学。敷地面積12万5,000m<sup>2</sup>の広大な館内はアステカ文明が時代別に展示コーナーされている。見どころは piedra de I so I (太陽の石)で直径3.6mの円盤にアステカの暦が描かれている(写真1)。午後はソチミルコ見学(世界遺産に登録)。アステカ時代は湖上都市テノチティラン(写真2)の上にスペイン征服軍が土を埋めて建設されたのがメキシコシティとなった。半径28kmの大都市であったが、ここだけは当時のまま受け継がれていて遊覧船でマリアッチの楽団が奏でる口マッチックな音楽を聞きながら一周した。

2月4日(木)、メキシコシティから車で45分の所にあるクエルナバカ(牛の角)にある体育館に移動するが、ここは裕福な家

庭の避暑地でもあった。アレハンドロ・ゴンザレス・デ・ホルヘ氏(不動産、石油会社など関連企業の社長)とジャンイナさん(趣味のケーキ屋2店舗経営)ご夫妻のプール付き別荘(写真3:その他にも3軒所有)に13:00待ち合わせをして昼食。沢山の料理が出るが余りにも量が多すぎて食べきれない。村上君と藤田両君は頑張るが途中でギブアップであった。私は果物が美味しく沢山いただいた。午後4～8時までアルター体育館(写真4)にてAチーム(14～20歳)を体操指導するも、見た感じだと指導方法が違う所がありメキシコの指導者が聞きに来ていた。体育館の敷地面積が後楽園球場位あり、その半分は駐車場で体育館が凄く、3階建てでプール(25×6コース)、体操場(40×35m)は男子6種目、女子4種目が揃っていて、特に平均台8台(写真5)、段違い平行棒4台、タンブリグバーン1台、ビット(写真6)、床(12×12)、バレエの練習場、サウナ、シャワー室が整っていた。驚いたのは外科と内科のドクターが待機していて、また曜日により心理学の先生がいるとの事(日本が遅れている部分)。3階にはランナーマシン、自転車マシンが所狭しに並んでいた。



1 太陽の石



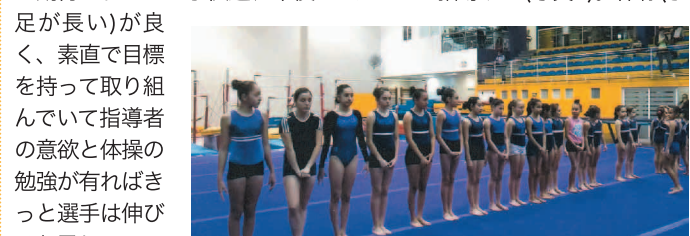
2 アステカ時代の湖上都市



3 プール付き別荘

庭の避暑地でもあった。アレハンドロ・ゴンザレス・デ・ホルヘ氏(不動産、石油会社など関連企業の社長)とジャンイナさん(趣味のケーキ屋2店舗経営)ご夫妻のプール付き別荘(写真3:その他にも3軒所有)に13:00待ち合わせをして昼食。沢山の料理が出るが余りにも量が多すぎて食べきれない。村上君と藤田両君は頑張るが途中でギブアップであった。私は果物が美味しく沢山いただいた。午後4～8時までアルター体育館(写真4)にてAチーム(14～20歳)を体操指導するも、見た感じだと指導方法が違う所がありメキシコの指導者が聞きに来ていた。体育館の敷地面積が後楽園球場位あり、その半分は駐車場で体育館が凄く、3階建てでプール(25×6コース)、体操場(40×35m)は男子6種目、女子4種目が揃っていて、特に平均台8台(写真5)、段違い平行棒4台、タンブリグバーン1台、ビット(写真6)、床(12×12)、バレエの練習場、サウナ、シャワー室が整っていた。驚いたのは外科と内科のドクターが待機していて、また曜日により心理学の先生がいるとの事(日本が遅れている部分)。3階にはランナーマシン、自転車マシンが所狭しに並んでいた。

2月5日(金)はメキシコの憲法記念日で休日であった。午前中8～15歳の期待されている子供達、午後はAチームを指導する(写真7)。体線(手足が長い)が良く、素直で目標を持って取り組んでいて指導者の意欲と体操の勉強が有ればきっと選手は伸びると思う。



7 14～20歳チームの指導

2月6日(土)の午前中は体操指導、午後3時よりセレモニーの式典と日本から来たとの事で市長始め関係者、教え子(南米各地から12名集まってくれた)子供達約800名で歓迎会を開催してくれた。その後も別荘で20時頃からパーティーで食べて飲んで、ダンスと私はクタクタになった。その際、ホルヘ社長とジャンイナさんから1ヶ月3,000ドルとこの別荘を貸すので2020年の東京オリンピックまで指導してくれないかと誘われてしまった。まだ日数があるので日本に帰ってから良い返事をくれとの事。

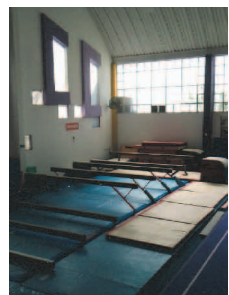
2月7日(日)は広大な遺跡のティワカンを見学(写真8:世界遺産に登録)。ラテンアメリカ最大の宗教都市国家で約25～30万人が住んでいたとされる。神殿として使われた月と太陽のピラミッドは絶景である。天に最も近い太陽のピラミッドの頂上に座り両手を上げ、古代の人々のようにエネルギーを貰って来た。昼食後、車の移動



8 テオティワカン遺跡



4 アルター体育館



5 平均台



6 ビット

で大活躍してくれた藤田君は仕事のため、再会を約束してここで別れる事となった。今まで連絡を取り合っていた体操仲間の石川喜一君(メキシコで不動産社長)と再会する。夜は喜一君宅に宿泊し、奥さん手作りの魚料理を久しぶりに堪能した。勿論、テキーラでサルー!

2月8日(月)に案内して貰う場所はグアナファト(カエルの丘:世界遺産に登録)。ここは銀鉱山で発展したメキシコでは最も美しい街並み(絵に描いたような素晴らしい町)で銀製品が安く買えた。更に町全体の岩山をくり抜いたトンネルが迷路のように走っていて、喜一君も何度か道を間違えていた。村上君がうどんを食べたいとの事で、日本料理店(この町で日本人が300人位住んでいるとの事)に行き、うどん、かつ丼、海鮮丼を頼んだのだが美味しくなく残す事になった。お茶を頼んだ所、8ペソ(80円)とられたのにはビックリ・ボン!であった。

2月9日(火)はグアナファトの町を一望できるロス・ベントナスゴルフ場(写真9)でラウンドする(スコアは43・46)。高地でドライブショットは良く飛んでいたが、2打目の芝目が強くボールをグリーンに打たないと飛ばなかった。グリーン上の芝(ペント:高麗と違う日本にはない芝)は速くて難しいものだった。自然を利用したコース内には池、バンカー、崖、クリーク、野生の動物が



9 ゴルフ場で

いた。料金は1ラウンドでサンドウィッチと飲み物付きで600ペソ(6,000円)、キャディーが2名付いて500ペソ、貸しクラブが高く400ペソ(日本では捨てているような中古クラブ)で一人当たり1,250ペソかかった。ポサダ・デ・ラアルディアラ・ホテルにて宿泊(爆睡)。

2月10日(水)早朝、バスターミナルまで喜一君に送ってもらいパノラマ付き2階建てバスの前方に乗る。メキシコシティまで約2時間、高速道路は片側4～6車線のほぼ直線で車内(全員で8名)は広くゆったりしていて飛行機より乗り心地が良く景色を見ながら寝てしまった。バスの料金はパスポートを提示すると600ペソが半額の300ペソになった(嬉しいねえ!)。午後はメキシコナショナルチームの総合体育館を視察してから近くの公園を散策後、タクシーに乗ってラ・ミシオン・ホテルに宿泊。高地(メキシコシティは2,240mの都市)のためか体調があまり良くないので早く就寝する事にした。

2月11日(木)、明朝帰国のため午前中は休養としホテル近くの公園を散策した。午後タクシーでメルカード(名産店)まで買い物に行く。私は体操教室の子供達にTシャツと保護者の方にはチョコレートを探し、直切って購入する(南米では当たり前だが1枚120ペソのTシャツが20枚買うので交渉し70ペソにする)。

2月12日(金)、早朝6時にタクシーでメキシコファレス空港に向かうが300ペソ(3,000円)と安く、40分で到着。当日カトリック教の総本山からローマ法王が来るとの事で警備が厳重であった。AA6便エアアメリカン航空グラス行き7:45発は定時刻に出発。グラス空港で2時間のショッピングをした。AA1374便エアアメリカン航空(ジャンボ機757)に搭乗し、午後12:10定時出発する事ができた(来る時乗ったジャンボ機737は中古で機内は狭く、757は広く余裕があった)。行きも帰りも食事の回数が多くまずいので我慢が必要。日付変更線を超えるため、2月13日(土)16:45無事に成田空港着(ホッと一息つく)。すぐバスで移動し東京八重洲口で軽く反省会を行う。村上君は貴重な体験をしたと喜んでくれ、東京発20:16盛岡行きに乗車。無事に到着のTELあり、お疲れ様でした。

終わりに、南米人の気質は物事にこだわらず陽気で良く食べ、良く話をするがアスタマニアーナ(明日またね!)の世界観があり、時間と約束事をあまり守る習慣がない。公用語はスペイン語(イスパニョ

## 会員寄稿 メキシコ in 体操・旅

ールが正式名称)、階級社会で貧富の差が激しく、そのため治安が悪いのでチップ用の小銭以外の現金は持たず、支払いはカードであった。日本ではチップの習慣がないのでいつも悩んだ。ホテルのメイド、ポータ、トイレ、ガソリン、タクシー、レストラン等々。この国の経済状況が良くないので、最低賃金100ドルとチップの生活で成り立っている。メキシコの気候は、5～26°Cで朝夕は長袖、日中は半袖と日差しが強くミネラルウォーターを必ず持ち歩いていた。なおアメリカに行く予定のある秋工会の人達は入国の際、テロ対策で物凄くチェックが厳しいので注意が必要。

2月6日(土)のセレモニーと式典ではペルーの教え子に再会できた事は誠に嬉しく楽しい思い出多い出来事であった。ジャンイナ、ピラール、パティ、カリナ、ティティ、パトリシア、マリア、ミレーナ、サラ、カトリーナ、メイチェ、セリーナの12名は、南米各地から集合してくれて感謝でしたが、式典終了後体操場で前方回転、後方転回、側方宙返りなどをやり始め、後方宙返りをやるから「プロフェッソール kadowaki アユウダ・メイ(門脇先生、私を補助してください)」と言われ驚きつつも補助する(この日のために練習して来たらしい)。成功し拍手喝采!

帰国して思ったことは、日本は素晴らしい国です。まず水が飲め、お風呂に入れる、美味しい食べ物(蕎麦・ラーメン・鰻・納豆・豆腐・漬物・寿司)が多くあり、外国に比べて治安が良く町も清潔で医療費が安い。日常生活からは中々気が付かないのだが……。

この旅の成功は、秋工体操部を通じての延長線に先輩、後輩との繋がり、友人、仲間と教え子との絆、友情と協力があればこそ出来たものと考え。今の私を根本から支えてくれるものは、やはり伝統校である秋田工業高校時代の校訓である「質実剛健」に培われた所が大きく、これからも金砂健児の勢いを忘れずに誠意(真心)・創意(独創)・熱意(愛情)を持って人生を送って生きたいと思う。



### ●会報KANASAへの寄稿・投稿のお願い

東京秋工会会報KANASAでは、会員の皆様からの寄稿及び投稿を随時募集しています。会報KANASAへは、東京秋工会会員の方であれば、どなたでも寄稿・投稿いただけます。旅行記、自分史、感想文等々、宗教的・政治的なこと以外であればジャンルは特に問いません。原稿のメ切りは毎月5月中旬となっておりますが、間に合わなかった場合でも翌号への掲載が考慮されますので、せつかくの原稿を無駄にするようなことはいたしません。奮って寄稿及び投稿くださいますようお願いいたします。

会報KANASAへの寄稿・投稿をなさりたい方は、当会事務局連絡先(本誌裏表紙記載)宛及び東京秋工会ホームページ内のメール等でご連絡ください。お近くに東京秋工会役員がおられる方は、直接役員にお申し出いただいても構いません。皆様からの寄稿・投稿を心よりお待ちしております。